

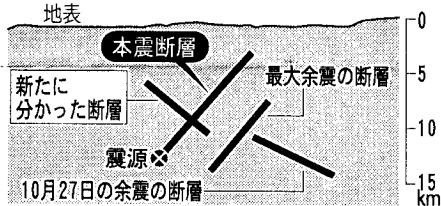
四つ目断層

活動を確認

京大など余震観測

新潟県中越地震で、京都大防災研究所と九州大地震火山観測研究センターの余震観測から、これまで分かっていなかった三つの断層のほかに、新たにも一つの新断層が活動したとみられることが分かった。十五日の地震予知連絡会で報告した。これまで

新潟県中越地震の断層推定図



での観測では、十月二十三日にマグニチュード(M)6・8の本震を起こした断層、それより下に位置し、平行するM6・5の最大余震を起こした断層のほか、十月二十七日にM6・1の余震を起こした前の二つに直交する断層の計三つが分かっていった。

京大などは、新潟県小千谷市、山古志村、栃尾市の三方所に地震計を設置して余震を観測。その分析結果から、これら三つの断層から南西にずれた位置にある断層も、本震の約十五分後に起きたM6・0の余震で活動していたことを確認した。